



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆45年振りの再会、そのきっかけは…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。

さて、3月に中学の同級生の一人と45年振りの再会を果たし、一緒にゴルフをしてきました。その同級生の名は川上君。

川上君とは中学2年、3年のときに同じクラスでした。とても面倒見の良い川上君は勉強もでき、私が勉強でわからないことがあると、いつも教えてくれました。そのような関係でしたので、高校進学するときも川上君は私が進学したところよりレベルがひとつ上。中学を卒業してから一度も会うことがありませんでした。

他の同級生とは地元でばったり会ったり、子どもの運動会等で会ったり、結婚式で顔を合わせることがありましたが、川上君とは一度も会っていませんでした。

ではなぜ、今回、一緒にゴルフをすることになったかと言いますと、年賀状です。

中学のときから年賀状だけはお互い欠かさず続けていました。そして、その中でひと言、お互いが自身の近況を記していたのです。

ある年の川上君の年賀状に「子育てが終わったので今はゴルフに熱中しています」とありました。その翌年、私は年賀状に「私もゴルフしていますよ、今度、一緒にプレーしたいですね」と書きました。すると、そのまた翌年、川上君から「実は伊勢原カントリーでプレーしているので、ご一緒しませんか？」とあり、年に一度の文通のような感じで年賀状のやり取りが続き、そして、2024年元旦に届いた川上君からの年賀状に、こう書いてあったのです。

「ご無沙汰しています 一緒にプレーしませんか 連絡待ってます 090-XXXX-XXXX」と。わざわざ携帯の番号まで書いてくれたということは、これは私から電話をかけて連絡を取るのが礼儀だと思い、元旦の夜に川上君の携帯に電話。そのときは（2枚目へ→）



(続き→) 出ず、留守電になったのでそこに私はメッセージを残しました。

「伊勢原中学の同級生の米山です。今日、年賀状を受け取りました。ご希望のゴルフ、私もやりたいと思いますので連絡を取り合いましょう」と。すると、翌日に川上君から折り返しの電話がかかってきたのです。45年振りの会話。声というのは変わらないもので、すぐに15歳のときの川上君の顔が思い浮かびました。

そして、1月2月はまだ寒いので3月に伊勢原カントリークラブでやりましょうと意見が一致。お互いの電話番号がわかり、また、LINE を交換してからは LINE でやり取り。ゴルフは4人1組でプレーします。お互いが気心知れた仲間を一人誘うことになり、私は大森さんを誘い、そして、当日、ゴルフ場で待ち合わせをすることに。

ゴルフ当日、私はだいぶ余裕を持って向かい、予約時間の45分前に到着。受け付けをして今日のメンバーの状況を聞くと「皆さんおそろいです」とのこと。急いでマスター室前に行きました。すると、少し離れたところに何となく川上君かなあと感じる方がいます。私は近づいていき、「おはようございます！ 米山です」と挨拶すると「川上です。今日はよろしく願います」と、45年振りの再会を果たしました。

事前のイメージでは感動の再会で、「おお！ 久しぶりー！！ 元気だったー??」となるかと思いきや、年賀状の継続的なやりとりの効果なのか、比較的スムーズにと言いますか、「久しぶりだね」くらいの自然な感じの再会となりました。

その後、お互いの直近10年、20年のことを話しながら、また、お互いが連れてきた人と4人で会話をしながら自然な雰囲気の中で、それこそ、いつもの仲間とゴルフをしている感じで、18ホール回りました。

ホールアウトとなり、お互いにお礼をして、天気も怪しくなってきたので、今日はこのまま帰りましょうと、また一緒にプレーしましょうと言って帰宅しました。

45年振りの再会。本当にいい時間を過ごさせていただきました。60歳過ぎの再会もまんざらではないと、そんなことも感じました。

■この通信をご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいますようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山